

令和2年度 事務事業総点検シート(1)
[令和元年度事務事業]

一般会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	多文化共生推進事業	シート番号	038-051
担当部署名	教育委員会事務 局	学校教育 部	人権教育 課
		評価責任者(課長名)	森内

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	3	次代を担う子どもを健やかにはぐくみます	後期実施計画の位置付け
			施策	3	学ぶ力・生きる力の育成	無
	2	事業開始年度	平成 5 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	学校教育法			
	4	関連計画	堺市教育大綱、第2期未来をつくる堺教育プラン			
5	事業実施の経緯	海外から帰国・渡日する外国人が増加している中、在日外国人及び外国にルーツのある子どもが自らの誇りと自覚を高められる環境づくりと、異文化を理解し、人権意識の高い、国際感覚豊かな子どもを育てる必要がある。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他 (堺市在日外国人教育研究会)				
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	市立学校園の幼児児童生徒				
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	互いの国の文化や歴史等について正しく認識し、人権尊重の精神と豊かな国際感覚を備えた人間を育成する。				
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	在日外国人教育研究会と共催し、研修会の開催、ハギハッキョ、ワールドハッキョ、ワールド・子どもの集い、多言語進路ガイダンス等を実施。 市立学校園に在籍する中国や海外から帰国して間もない幼児児童生徒及び外国から来日して間もない幼児児童生徒が、学校園生活において十分に能力を発揮できるように、日本語指導センター校での日本語指導をはじめとする自立のための指導を行うため、自立支援日本語指導員等を派遣。				
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 堺市在日外国人教育研究会					

Ⅲ. 投入量

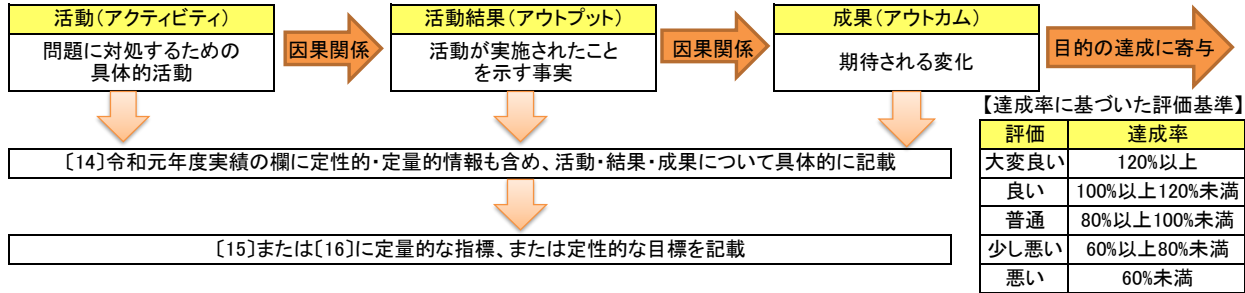
事業コスト	項目	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度
			予算	決算	予算	決算	予算	決算	予算
	事業費 (a)	千円	1,581	1,581	1,280	1,280	20,314	18,306	16,895
11	主な事業費内訳								
	在日外国人教育研究業務委託	千円	1,130	1,130	0	0	0	0	0
	在日外国人教育研究協議会等負担金	千円	151	151	1,280	1,280	1,108	1,108	1,108
	在日外国人教育研究印刷機購入費	千円	300	300	0	0	0	0	0
	自立支援日本語指導員謝礼金等	千円					19,206	17,194	15,787
財源内訳	国・府支出金	千円					6,401	5,728	5,339
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円							
	市債	千円							
	その他()	千円							
	一般財源	千円	1,581	1,581	1,280	1,280	13,913	12,578	11,556
12	人件費 (b)	千円	3,200	3,200	3,300	3,300	7,350	7,350	7,700
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	4,781	4,781	4,580	4,580	27,664	25,656	24,595

令和2年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	多文化共生推進事業	シート番号	038-051
-------	-----------	-------	---------

Ⅳ. 評価(測定・分析)》

ロジックモデルの考え方



事業の活動実績や成果

令和元年度実績									
活動実績と成果	14	在日外国人教育研究会と共催し、研修会を開催し、教職員の理解促進に努めるとともに、ハギハッキョ、ワールドハッキョ、ワールド・子どもの集い、多言語進路ガイダンス等を実施し、幼児児童生徒の他に、その保護者や教員も参加し、国際理解教育の深化に努めた。また、市立学校園に在籍する外国にルーツのある幼児児童生徒のうち、日本語を十分に理解していない子どもたちに対し、自立のために日本語指導センター校等において、日本語指導を行った。							
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		15	交流事業への参加幼児児童生徒数	人	目標値	2,800	2,800	2,800	0
					実績値	1,748	1,847	1,966	
					達成率	62%	66%	70%	
					評価	少し悪い	少し悪い	少し悪い	
		算出方法・設定根拠など		交流事業へ全学校園2人ずつ参加を予定した時の合計値。令和2年度については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全ての交流事業が中止となったため目標値を見直し。					
		指標名【成果指標】	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
		16	日本語指導を行った幼児児童生徒数	人	目標値	-	-	315	350
					実績値	-	-	315	
達成率	-				-	100%			
評価	-				-	良い			
算出方法・設定根拠など		毎年5月1日現在の日本語指導が必要な幼児児童生徒数							

事業の効率性

		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
17	①	交流事業への参加幼児児童生徒数	人	1,748	1,847	1,966
	②	上記①にかかる年間経費	千円	4,781	4,580	4,408
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	2,735	2,480	2,242
	備考(算出についての説明等)		年間経費=再雇用職員人工1人+在日外国人教育研究業務委託			
		区分	単位	平成29年度	平成30年度	令和元年度
18	①	日本語指導を行った幼児児童生徒数	人	-	-	315
	②	上記①にかかる年間経費	千円	-	-	21,244
	③	単位当たり経費(②÷①×1,000円)	円/単位	-	-	67,441
	備考(算出についての説明等)		年間経費=正規職員人工0.5人+自立支援日本語指導員謝礼金等			

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因や効率性についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
19	学校行事などとの重複により、参加幼児児童生徒の確保が難しいため、学校行事の日程編成において配慮するよう、事務局より働きかけるなど、幼児児童生徒が参加しやすい環境づくりに努めたが、参加人数が伸びなかった。 日本語指導が必要な幼児児童生徒については、目標は達成できているが、市内に散在している状況にあるため、令和2年度より、市内に4か所の日本語指導センター校を配置し、効率的な日本語指導に取り組んでいる。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 有効性は高いですか。低いですか。
- 効率性は向上していますか。
- RPA等をはじめとするICTを活用する余地はありませんでしたか。
- ターゲットに応じた最適媒体の選定など、戦略的な広報ができていましたか。

令和2年度 事務事業総点検シート(3)

事務事業名	多文化共生推進事業	シート番号	038-051
-------	-----------	-------	---------

《V. 点検》

＜点検の前提＞

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、本市の財政運営は今後一層厳しくなる
- 新型コロナウイルス感染症拡大防止と社会経済活動の両立をめざす

○上記「点検の前提」を踏まえ、事業の抜本的な見直しを検討するもの。

⇒

<input checked="" type="checkbox"/>	確認
-------------------------------------	----

コロナ禍を踏まえた点検（必要性・有効性・効率性）	20	本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を廃止できないか。	事業廃止の可能性 <input type="checkbox"/> 廃止できる <input checked="" type="checkbox"/> 廃止できない	廃止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 児童生徒にとって、多文化共生を学ぶ場であるとともに、外国にルーツのある児童生徒にとってはアイデンティティ育成の場となっている。また、海外から帰国して間もない幼児児童生徒の自立のため、日本語指導を始めとする指導を行っているため廃止はできない。
	21	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、当該事業を休止(延期)できないか。	事業休止の可能性 <input type="checkbox"/> 休止(延期)できる <input checked="" type="checkbox"/> 休止(延期)できない	休止した場合に市民生活等に及ぼす具体的な影響 児童生徒にとって、多文化共生を学ぶ場であるとともに、外国にルーツのある児童生徒にとってはアイデンティティ育成の場となっている。また、海外から帰国して間もない幼児児童生徒の自立のため、日本語指導を始めとする指導を行っているため廃止はできない。
	22	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 本市財政運営が厳しくなることが想定される中、事業規模を縮小するなど、コスト縮減を図ることができないか。	コストの縮減 <input type="checkbox"/> 一部廃止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 一部休止しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 規模等を縮小しコスト縮減できる <input type="checkbox"/> 事業手法等を改善しコスト縮減できる <input checked="" type="checkbox"/> 縮減できない	縮減できる場合は具体的な縮減内容、できない場合はその理由 児童生徒にとって、当該事業を通じて、人権教育の観点から多文化共生を学ぶ場となっている。また、海外から帰国して間もない幼児児童生徒の自立のための日本語指導を始め、日本で生活をしていくうえで必要な指導を行っているため減額はできない。
	23	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 社会経済活動の維持・回復のほか、3密を避けるなどの市民や民間の活動変容への対応に向け、実施手法を改善する必要がないか。	事業手法の適切性 <input checked="" type="checkbox"/> 改善する必要がある <input type="checkbox"/> 改善する必要がない <input type="checkbox"/> 既に対応できている	改善する場合は改善策、その他は理由 ICTの活用等を含め、事業の実施方法については見直しを検討している。
	24	(20で廃止できるを選択しなかった場合) 効果的・効率的な事業の実施に向け、右に掲げる視点から改善できないか。	効果的・効率的な事業実施(以下の観点で、改善する(または改善済)場合は <input checked="" type="checkbox"/> 、改善しない(改善余地がない場合を含む)場合は <input type="checkbox"/>) ① <input type="checkbox"/> 公民連携の推進 ② <input checked="" type="checkbox"/> ICT活用による効率化 ③ <input type="checkbox"/> 他部局との適切な連携・役割分担 関係部署名 () 関連事業名 () ④ <input type="checkbox"/> 国・府等との適切な役割分担・連携 ⑤ <input type="checkbox"/> 他政令市等との比較におけるサービス水準の均衡 ⑥ <input type="checkbox"/> その他 ()	理由・説明 今年度、GIGAスクール構想により、児童生徒1人1台のタブレット配布が行われることになっており、外国にルーツがある児童生徒への日本語指導については、その活用方法を検討している。
25	これまでの点検を踏まえ、今後の事業のあり方についてどのように考えるか。	事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止または延期 <input type="checkbox"/> 事業を縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 現状を継続 <input type="checkbox"/> 事業を拡充 公金投入の方向性 <input type="checkbox"/> ゼロ <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大	実施年度 <input type="checkbox"/> 令和2年度 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度 <input type="checkbox"/> 令和4年度以降	
		所見 在日外国人教育研究会と共催して実施している研修会等については、今後も効果的な実施方法を検討していく。 なお、市立学校園に在籍する海外から帰国して間もない幼児児童生徒への日本語指導については、現在、実施している事業の検証を行いながら、他都市の取組も参考に、本市の特性(多国籍化、散在化等)に応じた体制を構築していく。		